

区分	指定別	なまえ・所ざい地	せ つ め い
無形民俗文化財	けん県	はごさきあたごししまい 箱崎愛宕獅子舞  はごさきあざやまざし 箱崎字山岸2	てんぶんねんかん ねんだい つた さんびきし しおど 天文年間（1503年代）から伝わる三匹獅子踊り りて、県内では比較的芸能化されたはなやかな舞といわれる。
有形	まち町	きんしゅうじなかくせきどう 金秀寺七角石塔 金秀寺	かんしょう 寛正きのえさる4月8日（1464年）ときざま れ、七体の仏像がほられている石塔。
	まち町	ふくごんじろくじごう 福厳寺六地藏 福厳寺	ほうれきねんかん ねんかん さく たか 宝暦年間（1750年代）の作で、高さ4メー トル、はば1.6メートルの石塔。
	まち町	ふくごんじほうきょういんどう 福厳寺宝篋印塔  ふくごんじ 福厳寺	ほうれき ねん ねん ほういんりょうよ だい おのろく 宝暦13年（1763年）法印亮誉の代に、小野六 左衛門のねがいによって、石工信州中村北原 三左衛門に作らせた石塔。経典が納められて いる。
文化	まち町	こうだいじぶつねはんず 光台寺仏涅槃図 光台寺	きょうほう ねん ねん ふしぐるむら ども たまんしち こうだい 享保2年（1717年）伏黒村の富田万七が光台 寺にきふしたシャカの死をえがいた仏画。
	まち町	どんすみずひき 緞子水引  たて うち 館ノ内20	きょうほう ねん ねん ほうじゅじかんのんどう えど ひ 享保21年（1736年）宝寿寺観音堂が江戸で秘 仏を信者に見せた時（出開張）、薩摩の竹姫 がきふしたという地の厚いおりもの。
財	まち町	しほんさいしきながくらえず 紙本彩色長倉村絵図  ばばぐら 馬場口47	かえい ねん ねん ながくらむら ど 嘉永4年（1851年）にえがかれた長倉村の土 地のようす（川、沼、社寺、人家など）をあ らわした略図。
	まち町	しほんちやくしよくふしぐるむらえず 紙本著色伏黒村絵図 四幅 ふしぐるあざいっほんいし 伏黒字一本石13-4	えんきょう ねんかん ねんだい けんち 延享年間（1745年代）検地のおこなわれた時 代から、天保、明治7年までの伏黒村の絵地 図。当時の村のうつりかわりがわかる。